

畑作・野菜・花き生産情報 第4号（要約版）

令和4年7月20日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

- ◎ 大豆ほ場の排水対策を徹底しよう！
- ◎ ながいもは、新しいもの長さを確認して適期に追肥しよう！
- ◎ 換気や遮光をこまめに行うなど、ハウス内の適正な温湿度管理に努めよう！
- ◎ 切り花の品質保持のため、涼しい時間帯に収穫しよう！
- ◎ 曇天が続く場合は、病害の発生に注意し、防除を徹底しよう！

○ 大豆

- 1 生育は、草丈、葉数ともに平年並から平年を上回っている。
- 2 大雨などで滞水しないよう、明きよと排水溝を点検し、排水対策を徹底する。
- 3 大豆の生育が遅れているほ場では、土寄せを浅くする。
- 4 ベと病、アブラムシ類及び食葉性害虫などの病害虫は、発生状況を確認して適期防除に努める。

○ ながいも

- 1 生育は、萌芽揃期が平年よりやや遅かったが、地下部の生育は順調である。
- 2 早植栽培（頂芽付1年子）の第1回目の追肥時期は、新しいも長5cmを目安とし、第2回目以降の追肥は、12日～14日間隔で行う。
- 3 普通栽培（頂芽切除）の第1回目の追肥時期は、新しいも長10～15cmを目安とし、2回目、3回目の追肥は、10日間隔で行う。
- 4 台風など強風や大雨に備え、ネットや支柱の補強など、排水対策を徹底する。

○ ばれいしょ

- 1 いも数、いも重が平年を大幅に上回っており、生育は順調である。
- 2 曇雨天が続くと、疫病が急激に増加するため、収穫まで期間がある場合は、7～10日おきに降雨の合間をぬって防除を行う。
- 3 収穫は、茎葉が黄変し、枯れ上がってから10日後位に行う。

○ ごぼう

- 1 草丈は平年並、葉数は平年をかなり上回っており、生育は順調である。
- 2 黒斑細菌病、黒条病、アブラムシ類の発生に注意し、早期発見、早期防除に努める。

○ 夏だいこん

- 1 降雨で、は種作業に遅れがあったが、出芽は良好である。
- 2 軟腐病、キスジノミハムシ、コナガ、アオムシの発生に注意し、早期発見、早期防除に努める。

○ 夏秋トマト（雨よけ栽培）

- 1 生育は順調で、収穫始めは平年より早まっている。
- 2 葉先枯れやガク枯れのほか、花落ち、窓あき果、軟果、尻腐れ果が見られている。
- 3 灰色かび病、葉かび病を主体に計画的に薬剤散布する。
- 4 追肥及びかん水は、水分要求量が高くなる午前8時～9時頃に行う。
- 5 高温が続く場合は、軟果に注意しながら、通路にもかん水する。
- 6 ハウス内の高温に注意し、サイドの開放と併せて、肩換気やツマ面換気も行う。

○ メロン（雨よけ栽培）

- 1 トンネル栽培（4月下旬～5月上旬定植）の生育は順調である。
- 2 収穫は、着果後の日数や外観、試し切りによる糖度・肉質の状況などから判断し、収穫遅れにならないようにする。朝夕の果温が低いうちに収穫する。

○ ねぎ

- 1 3月下旬定植、4月中旬定植ともに生育は順調である。
- 2 べと病、黒斑病等の早期発見に努め、各病虫害に効果的な薬剤を選択し防除する。
- 3 最終培土は、太さ20～22mm、収穫20～30日前を目安に行う。

○ 夏秋ギク

- 1 生育はおおむね順調だが、一部ほ場で高温が原因と考えられる葉焼け症状が確認されている。また、発らいが遅れ気味のほ場がみられる。
- 2 白さび病、アブラムシ類、アザミウマ類等の早期発見・早期防除に努める。
- 3 切り前は、出荷先により異なるため事前に確認する。
- 4 涼しい時間帯に収穫し、切り口を乾かさないようにする。

○ 秋ギク

- 1 生育は順調である。
- 2 ハウス内が高温・過湿にならないように管理する。
- 3 かん水は、活着まではこまめに、活着後はほ場の乾燥状態を見ながら行う。

○ トルコギキョウ

- 1 生育はおおむね順調である。
- 2 ハウス内が高温・過湿にならないように管理する。
- 3 不要な側枝は早めに摘み取り、頂花らい（1番花）も早めに除去する。
- 4 涼しい時間帯に収穫し、速やかに鮮度保持剤による前処理を行う。

※アップルネット (<https://www.applenet.jp/>) に本文を掲載しています。

- ◎『日本一健康な土づくり運動』展開中 ～元気な作物は健康な土が育みます～
- ◎令和4年度青森県農薬危害防止運動展開中 ～農薬は適正に使用しましょう～
- ◎食中毒を防ぐため、生産段階から「野菜の衛生管理」に努めましょう。
- ◎備えあれば、憂いなし！ 農業保険を活用しましょう！
- ◎農作業事故と熱中症にご注意ください！



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(畑作) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ 総括主幹 成田真樹 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ 総括主幹 木下均
電話番号	(畑作) 直通 017-734-9480、内線 5073 (野菜・花き) 直通 017-734-9485、内線 5076
報道監	農林水産部 次長(農商工連携推進監) 成田澄人 内線 4967

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>